

令和2年度 第6回 伊勢市障害者施策推進協議会 自立支援部会 議事録（要旨）

開催日時：令和3年3月2日（火）午前10時～12時

開催場所：伊勢市役所 東館5-3会議室

出席委員：市川知律会長、浦田宗昭委員、竹澤尚美委員、森見典子委員、大田桃子委員、直江敦代委員、中川佳代委員、川口幸生委員、（欠席：岡田まり委員、三上正和委員）

事務局：伊勢市障害者総合相談支援センター フクシア（基幹型）職員2名

傍聴者：2名

●障がい福祉課長より

○令和3年4月から基幹相談支援センターを市の直営で行い、部会運営は新しい体制となる。本日はまとめとして議論いただきたい。

●伊勢市障害者施策推進協議会の報告

○人材確保・養成チーム：伊勢市介護職員初任者研修費助成事業について、障害福祉サービス事業所への就職者も対象としてもらいたいと上程。

○就労支援チーム：雇用する側のニーズも含めた課題、周知啓発、表彰制度等について報告。

○基幹相談支援センター：伊勢市版としての評価を行った。

○今後継続の必要のある事項：各プロジェクトチーム、交流会の発展、サービス事業所等連携会議、医療的ケア児者支援チームの創設等。

○市長より、自立支援部会で活発な議論をさせていただいているという話があった。

●人材確保・養成チームからの報告

○現状について

①中学生への福祉の仕事の啓発：啓発ビデオ制作など。

②求職者との出会い：ハローワークにサービス事業所等の詳細情報提供のチラシを配備。

③ヘルパーとの交流機会：岡田委員に協力いただき、事例紹介により議論を促進する予定。

○来年度について

・ビジネスパークいせは将来の人材確保に有益であり継続が必要。 ・目指すべき人材の指標及び研修制度について、伊勢志摩圏域自立支援連絡協議会の人材育成部会へ報告。 ・支援者の今後の交流機会のあり方は、第2回サービス事業所等連携会議の結果を踏まえた協議が必要。

○チーム参加をしてきての感想

・人材チームに行政がないことが課題。人材確保やPRは行政のバックアップがあれば求職者の信用度等が違ってくる。 ・中学校の技術家庭の学習指導要領に介護が入ってくるので、教員と連携できるとよい。 ・中・高校生などに障害分野の就職について意識調査を行い、その変化を見ることで活動の長期的評価の指標とするとよい。

●就労支援チームからの報告

○企業・市民へ「周知・啓発」する内容の検討

- ・施設外就労、学校見学やサービス事業所への見学などの直接的な出会いの場面の重要性、障害者雇用事例集の伊勢版を商工会議所HPへ掲載すること等を協議。

○表彰制度の創設について

- ・国の優良企業表彰制度「モニス」への認定を目指し、そこまでのインセンティブとして伊勢市長の表彰制度が創設できるとよい。

○来年度について

- ・今年度に取り組んだ「周知・啓発」の継続、市としての障害者雇用促進へのスローガンの設定、障害者雇用の実態把握、発達障害の高校生へのアプローチ、商店街との連携等が必要。

【各委員より】

- ・障害者雇用に関して、合理的配慮の事例集等が作れると活動の幅が広がるのではないかと。

●サービス事業所等連携会議について事務局より以下の報告

- 日中活動系G：人材育成の方法、新型コロナウイルス感染症への取り組み等について協議。
- 就労系G：工賃向上の困難さ、就労移行事業所の少なさ、企業開拓の困難さ等を協議。
- 訪問系G：ヘルパーと訪問看護の連携について協議。
- 居住系G：地域生活移行への課題、支援者の意識改革等について協議。
- 児童通所系G：児童発達支援センターの機能、進路選択への支援、各事業所の療育内容等について協議。

【各委員より】

- ・家族がコロナに感染したときに障害者本人を受け入れてもらえないことがないように、預かり先を確保してもらいたい。クラウドいせも情報発信としてあるとよい。

●新たなプロジェクトチームの必要性について事務局より以下の報告

- 医療的ケア児者支援チーム：医療的ケア児者が自分らしいあたり前の暮らしができるよう災害対応、保育・教育、福祉用具、感染症対応における支援を考えていく必要がある。
- 交流会（定例会）：今後、地域の課題を一部の人の課題から地域全体の課題へと共有を図ることを目的とする。

●伊勢市施策推進協議会運営の手引きについて

- 事務局より現状や今後を見据えた修正について提案。

●来年度について（事務局より）

- 令和2年度の年間活動報告書について報告（各チーム、交流会、サービス事業所等連携会議等の提言、活動内容。基幹型相談支援の評価）。
- 令和3年度：継続していく必要のある事項→各プロジェクトチーム、交流会、サービス事業所等連携会議、基幹型の評価、地域生活支援拠点等の運営評価、医療的ケア児者支援チームの創設、交流会（定例会）の発展。

●その他（障がい福祉課長より）

- 地域生活支援拠点の面的整備（案）について：令和3年4月以降、緊急時の対応について地域相談にコーディネーターを配置し、登録された方への対応体制を作っていく。緊急時の対応が必要な方は地域相談へ相談し、登録していただきたい。